



つづく つながる 夢を育てる学び舎  
**国立二小だより**

令和7年(2025年)4月8日  
国立市立国立第二小学校  
校長 内田 辰彦

## 新しいスタート

校長 内田 辰彦

校庭には、染井吉野、大島桜など様々な桜の花が満開に咲きほこっています。いよいよ、令和7年度(2025年度)が始まりました。新しい校舎での新年度です。今年は76名の1年生を迎え、1年生から6年生までの通常学級は全て3クラスの18学級、プラタナスは26名の4学級、合計22学級で537名の児童数となりました。これで、全ての普通教室を使用することとなり、校舎はフル稼働の状況です。537名の子どもたち1人1人のどの子にも学びやすい環境で学校生活を送ってもらいたいと考えています。

本校の教育目標はあたたかく、かしこく、つよくの3点です。「あたたかく」では人間関係形成力を培います。また、1人1人がその子らしくいられる教育環境を創っていきます。「かしこく」では基礎的・基本的な学力の定着を目指します。さらに、個別最適で協働的な学びをすすめていきます。「つよく」では、体力・創造力・粘り強さを育てていきます。また、創造力に富み、健康で安心・安全な教育環境をつくっていきます。今年度の重点目標は、どの子にも学びやすい環境の新しい校舎に合わせて引き続き「あたたかく」としました。

この3月に卒業した昨年度の6年生は、この教育目標について次のようなメッセージを残してくれました。「あたたかく」1人1人を大切にし、認め合おう。「かしこく」その場に適した判断をし、行動しよう。「つよく」失敗しても諦めず、挑戦し続けよう。どれも素敵なメッセージです。このメッセージを考えた6年生の姿が浮かんできます。その思いを引き継いで、ぜひこんな姿がこの1年間の様々な場面で発揮できるようになるという、と考えています。

新たな1年が始まり、今年度新しく取り組むこともあります。まず、1年生の「新スタートカリキュラム」に取り組めます。今日から始まる新1年生の学校生活をこれまでの幼稚園・保育園から滑らかに移行していけるように様々な工夫をしていきます。明日から暫くの期間は、小学校の45分間の1単位時間での学習ではなく、15分程度を1つのまとまりとして、子どもたちの興味関心が途切れないようにします。また、登下校や放課後も家の近くの友達とかかわりをもちやすくするため、地区ごとにある程度まとまったグループを作り、そのグループで4月は学校生活を送ります。5月からは、1組～3組にクラス分けをします。教える先生も1年生担当の先生だけでなく、専科の先生方もこの時期は1年生にかかわって、大勢の教員で子どもたちを見ていきます。また、それぞれ担当の教科や指導内容を決めて、全てのグループにかかわっていきます。そうやって、4月の学校生活を送ることで滑らかな移行ができるよう努めていきます。

また、5、6年生は小学校教科担任制推進校の指定を受け、理科の専科の先生を増やして教科担任制を進めていきます。4年生も学年内での教科担任制を進めます。それに伴い、専科等の教員を1年生から6年生の副担任とし、それぞれの学年でもプラスアルファの教員で学年での指導を進めていきます。

そして、いよいよコミュニティスクールが始まります。今年度は、コミュニティスクールの初年度なので、昨年度までの学校評議員制度を引き継ぎながら、コミュニティスクールでの新たな取組も進めていきます。同時に地域学校協働活動も始まります。これまで、授業支援などは学年の教員から保護者の方にボランティアを募っていましたが、今後はこの地域学校協働活動のしくみを活かしたボランティアの募集も行っていきます。

校舎の工事は第2期になり、旧鉄筋校舎を解体して体育館・コミュニティー棟の建設をすすめていく段階になります。完成は来年度の10月ころになります。新しいスタートです。今年度もどうぞよろしくお願いします。

